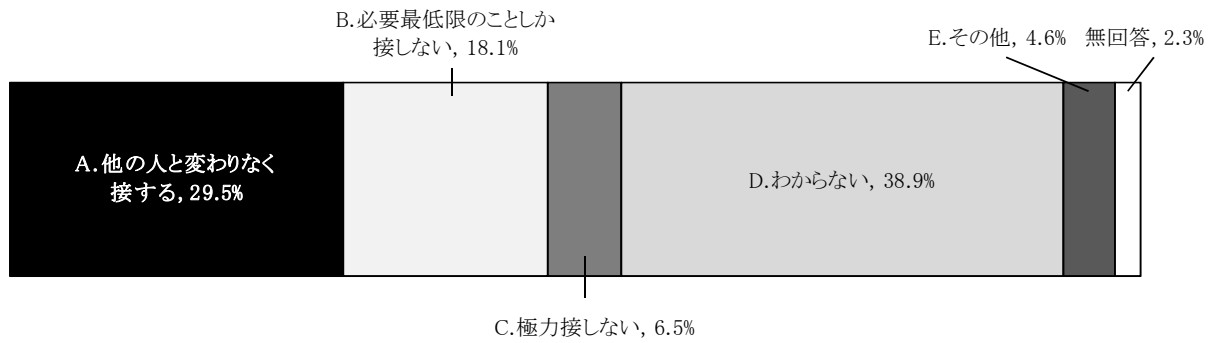


問 28（刑を終えて出所した人への接し方）

刑を終えて出所した人と、あなたの職場や地域社会で接する機会が生じた場合、あなたはどのような気持ちを持たれますか。（ は1つだけ）

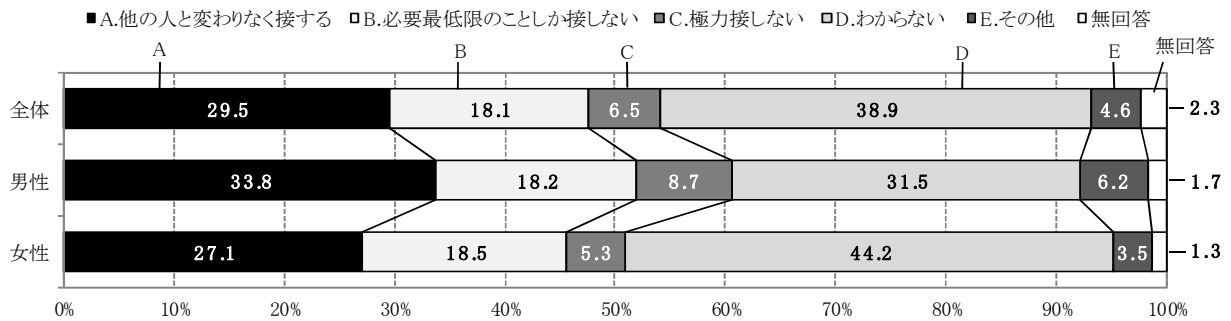


■刑を終えて出所した人と接する気持ちについて、「D. わからない」が38.9%と最も高いが、具体的な項目では「A. 他の人と変わりなく接する」と答えた人も29.5%と高くなっている。

前回調査なし

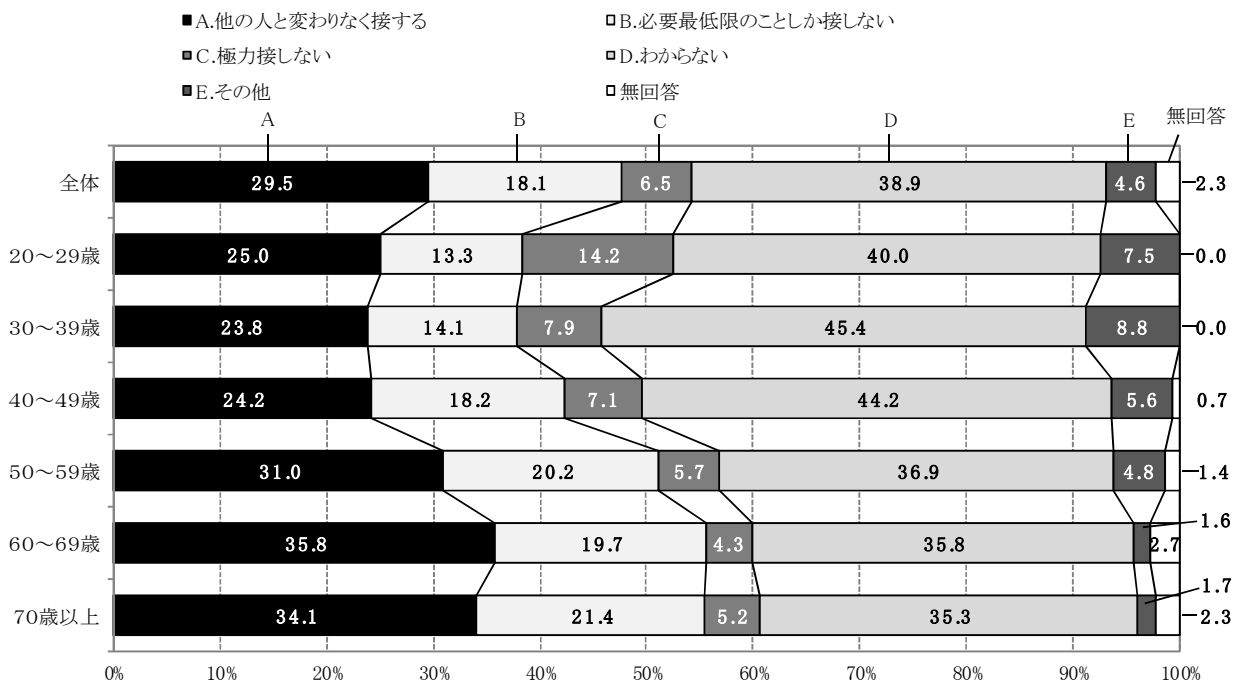
【性別・年齢との関係】

〔図 28-1〕 問 28 刑を終えて出所した人への接し方 と 性別 の関係



性別でみると〔図 28-1〕、男性では「A.他の人と変わりなく接する」(33.8%)が最も高く、女性では「D.わからない」(44.2%)が最も高くなっている。

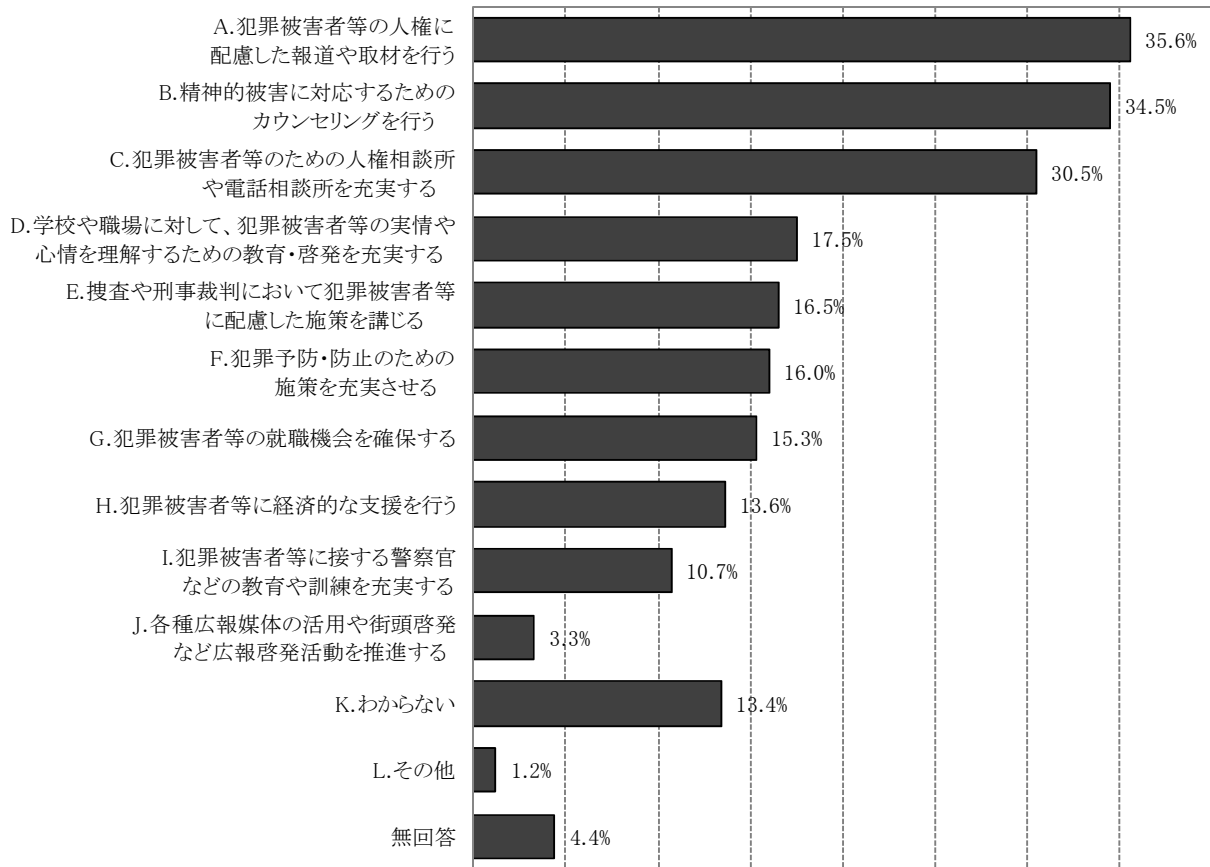
〔図 28-2〕 問 28 刑を終えて出所した人への接し方 と 年齢 の関係



年齢別でみると〔図 28-2〕、「A.他の人と変わりなく接する」は、60歳代(35.8%)、70歳以上(34.1%)、50歳代(31.0%)と高い年代で高くなっている。

問 29 (犯罪被害者の人権を守るために必要な取り組み)

あなたは犯罪被害者等(犯罪被害者とその家族)の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。次の中から特に重要だと思うものをあげてください。(は3つ以内)

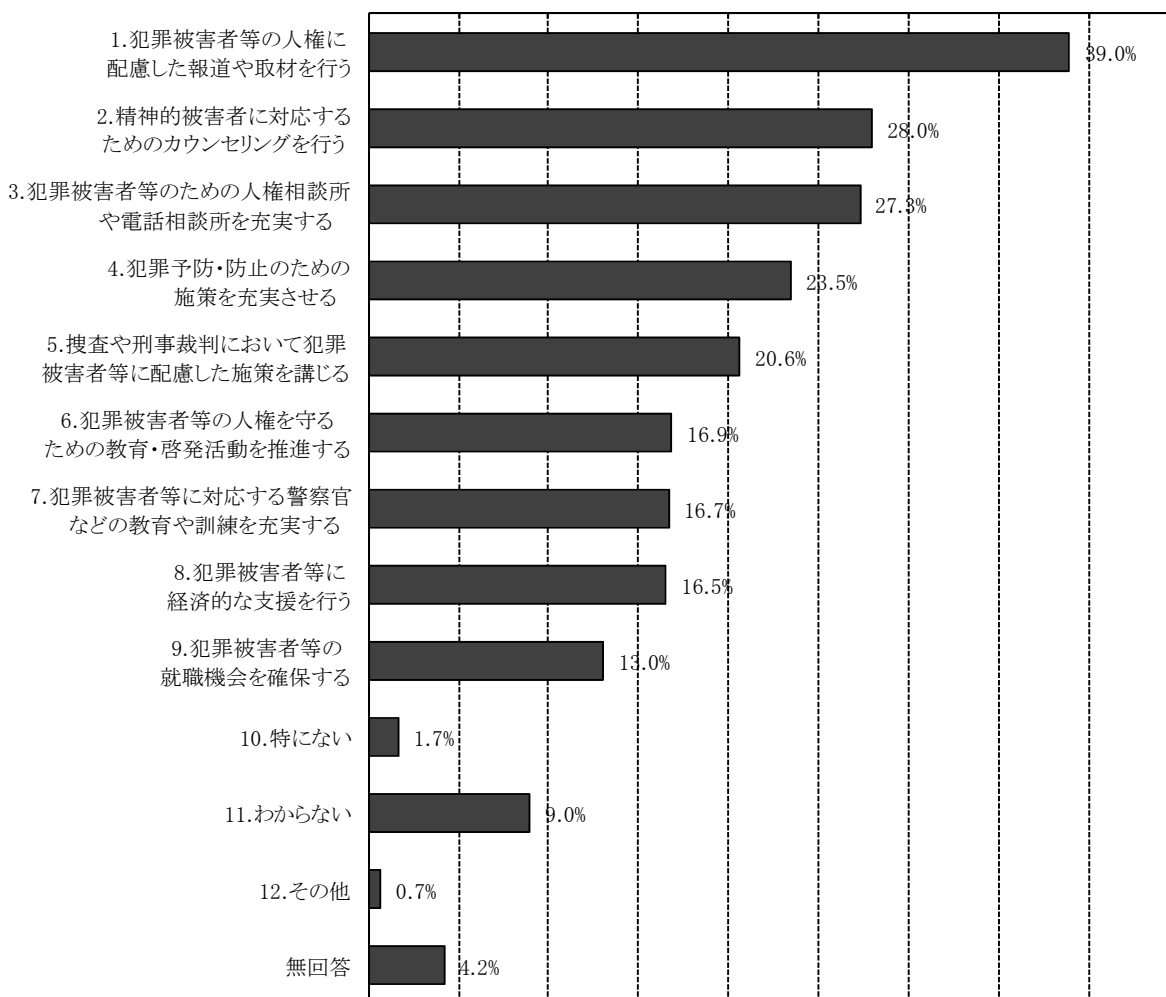


■ 犯罪被害者の人権を守るために必要と思うことは、「A. 犯罪被害者等の人権に配慮した報道や取材を行う」(35.6%)、「B. 精神的被害に対応するためのカウンセリングを行う」(34.5%)、「C. 犯罪被害者等のための人権相談所や電話相談所を充実する」(30.5%)が高くなっている。

【参考】 設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

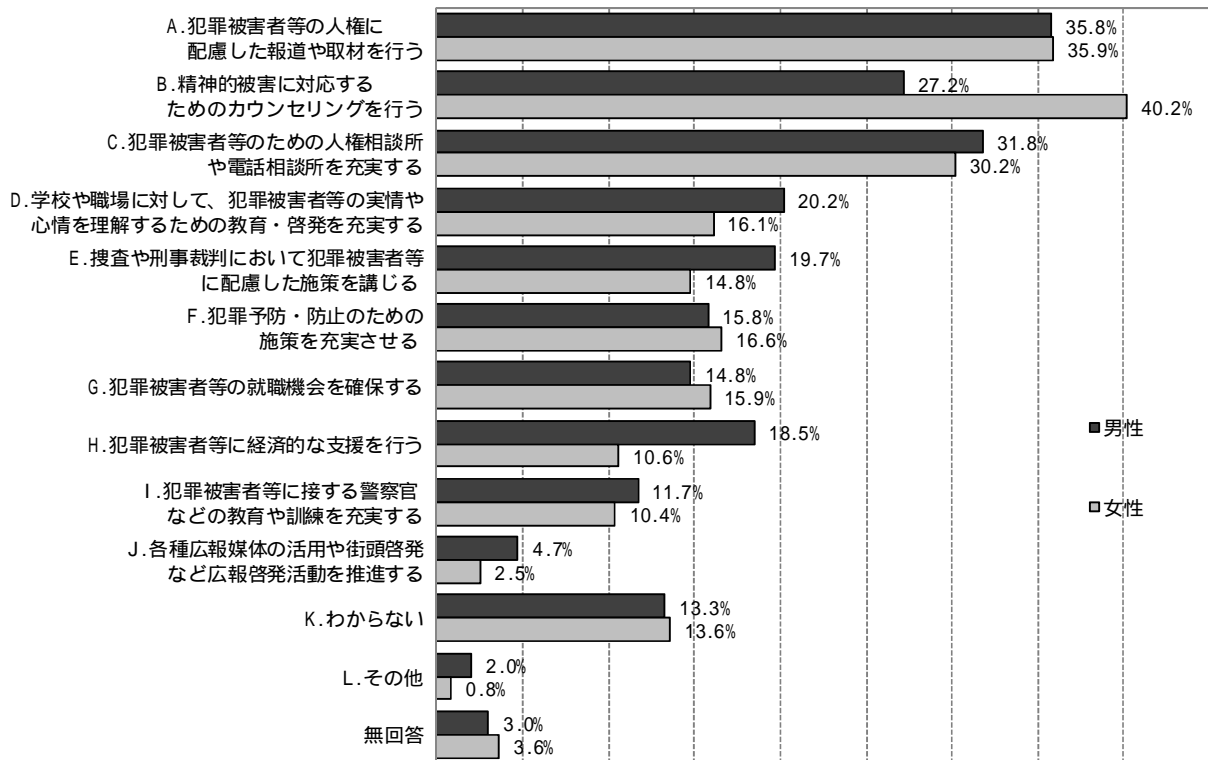
前回調査（H17 鳥取県人権意識調査）

問 29 あなたは犯罪被害者等（犯罪被害者とその家族）の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。次の中から特に重要だと思うものをあげてください。（ は3つ以内）



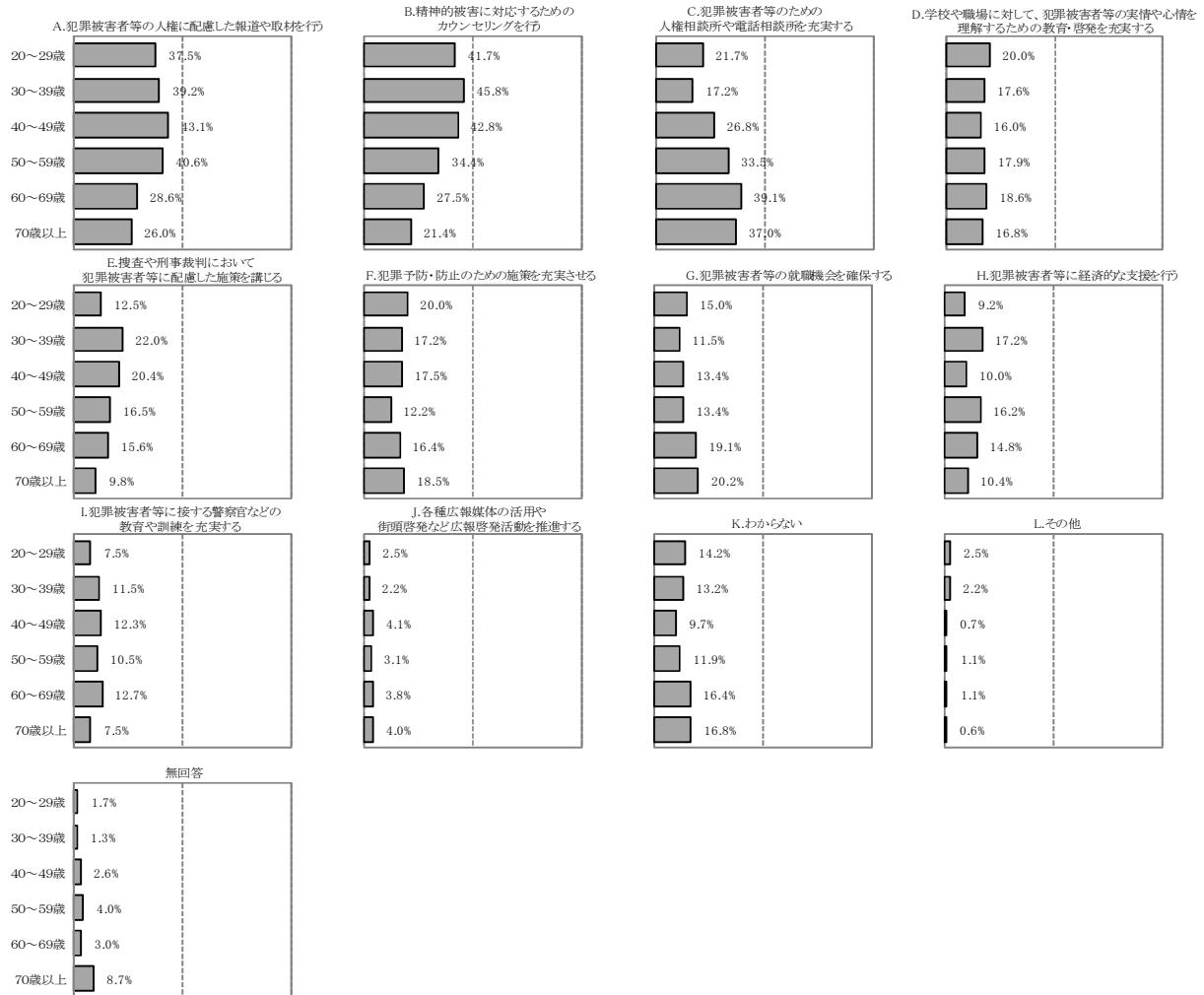
【性別・年齢との関係】

〔図 29-1〕 問 29 犯罪被害者の人権を守るために必要な取り組み と 性別 の関係



性別でみると〔図 29-1〕、男性では「A. 犯罪被害者等の人権に配慮した報道や取材を行う」(35.8%) が最も高く、女性では「B. 精神的被害に対応するためのカウンセリングを行う」(40.2%) が最も高く、男性を大幅に上回った。

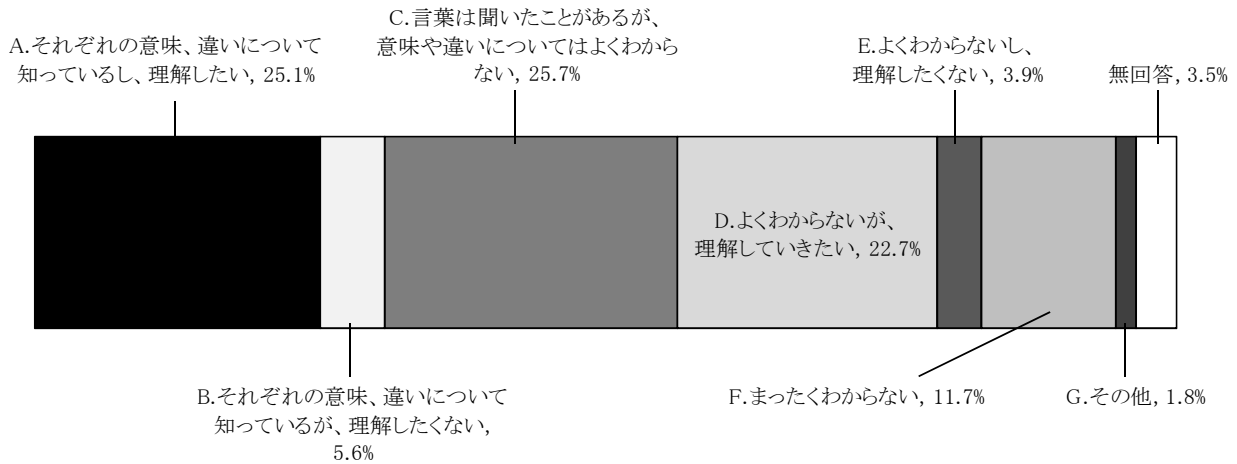
〔図 29-2〕 問 29 犯罪被害者の人権を守るために必要な取り組み と 年齢 の関係



年齢別でみると〔図 29-2〕、20 歳代、30 歳代、40 歳代では「B. 精神的被害に対応するためのカウンセリングを行う」が 4 割以上と高くなっている。40 歳代、50 歳代では「A. 犯罪被害者等の人権に配慮した報道や取材を行う」が 4 割以上と高くなっており、60 歳代、70 歳以上では「C. 犯罪被害者等のための人権相談所や電話相談所を充実する」が 4 割近くと高くなっている。

問 30（性的マイノリティの理解度）

あなたは性的マイノリティの意味やそうでない人との違いを知っていますか。(は1つだけ)



■性的マイノリティの意味や違いについて、「知っている^{*1}」は30.7%。「よくわからない^{*2}」は52.3%、「理解したい^{*3}」は47.8%、「理解したくない^{*4}」は9.5%。「まったくわからない」は11.7%となっている。

1 「A.それぞれの意味、違いについて知っているし、理解したい」又は「B.それぞれの意味、違いについて知っているが、理解したくない」。

2 「C.言葉は聞いたことがあるが、意味や違いについてはよくわからない」、「D.よくわからないが、理解していきたい」又は「E.よくわからないし、理解したくない」。

3 「A.それぞれの意味、違いについて知っているし、理解したい」又は「D.よくわからないが、理解していきたい」。

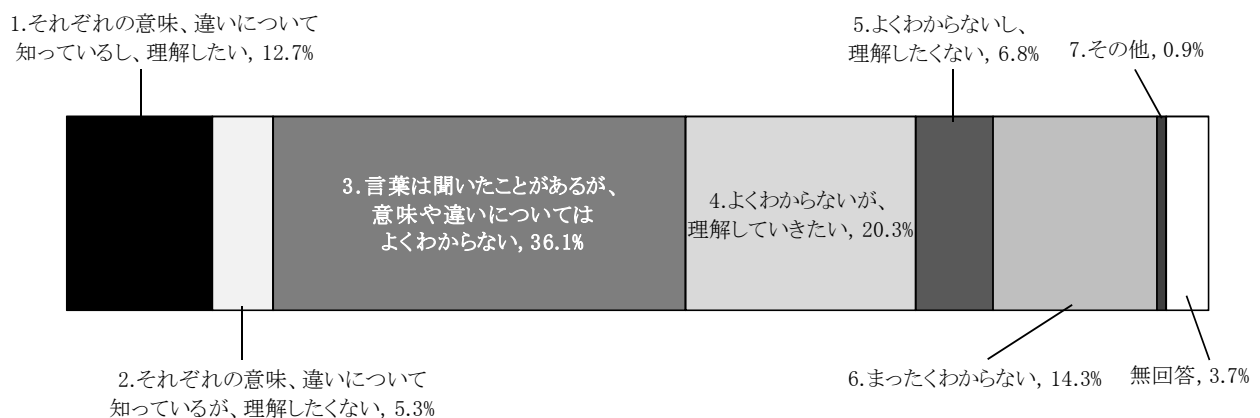
4 「B.それぞれの意味、違いについて知っているが、理解したくない」又は「E.よくわからないし、理解したくない」。

【参考】 設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

前回調査（H17 鳥取県人権意識調査）

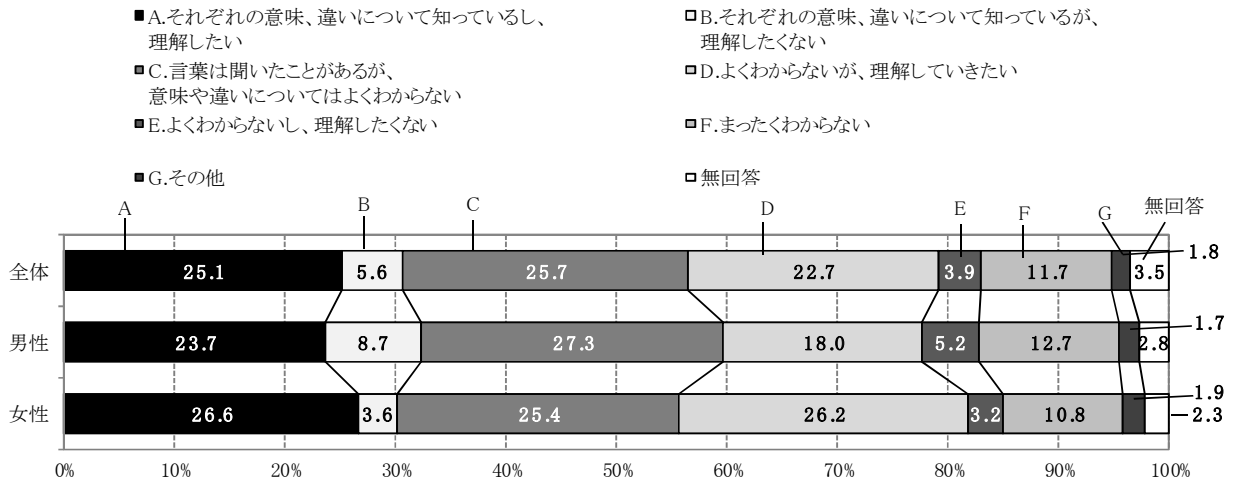
問 30 性的マイノリティ（少数者）は、社会的に異質なものとしていやがらせや侮蔑的な言動、雇用面においての差別、性区分を前提とした社会生活上の制約などさまざまな問題があり、この解消に向けた取組みが必要となっています。あなたはこの性的マイノリティの意味や違いを知っていますか。

(は1つだけ)



【性別・年齢との関係】

〔図 30-1〕 問 30 性的マイノリティの理解度 と 性別 の関係



性別でみると〔図 30-1〕、性的マイノリティの「それぞれの意味、違いを知っている¹」は男性と女性であまり差はない（男性 32.4%、女性 30.2%）。また、「理解したい²」は、女性の回答率が男性を 11.1 ポイント上回っている（男性 41.7%、女性 52.8%）。

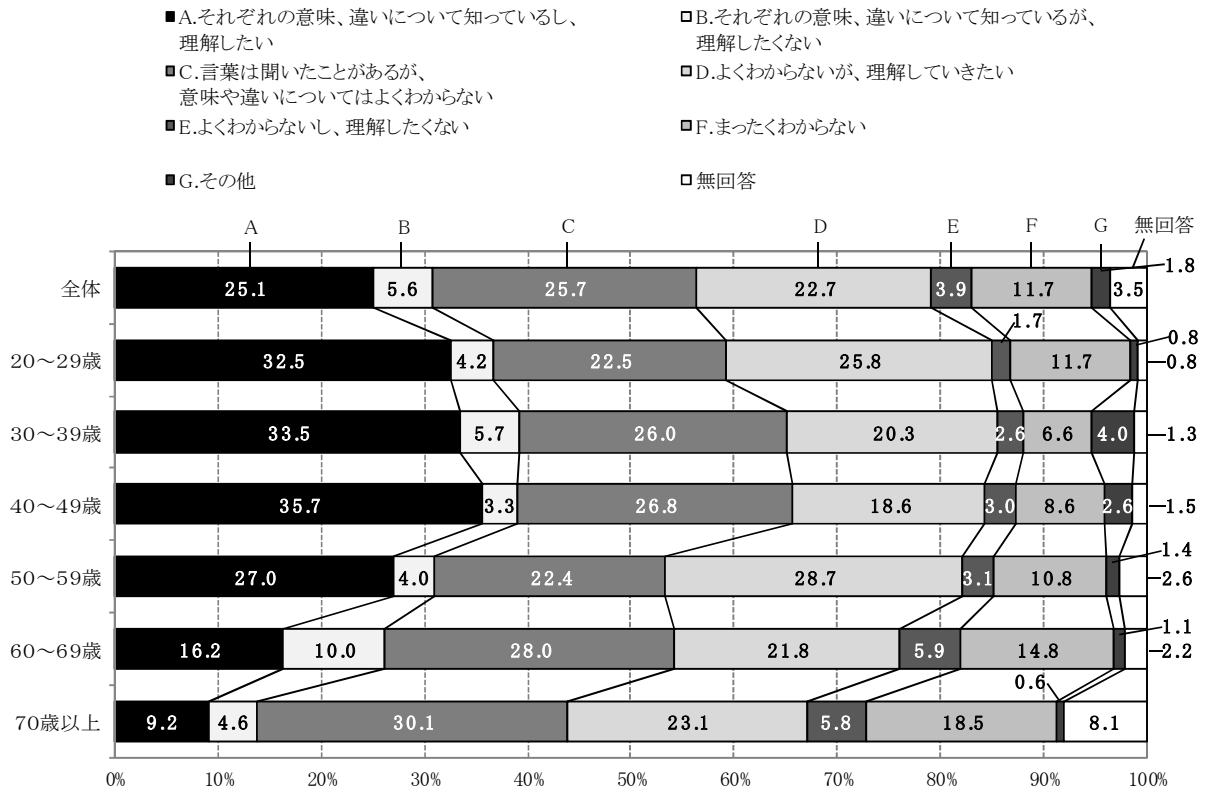
一方、「理解したくない³」は、男性が女性よりも 7.1 ポイント高くなっている。（男性 13.9%、女性 6.8%）

1 「A.それぞれの意味、違いについて知っているし、理解したい」又は「B.それぞれの意味、違いについて知っているが、理解したくない」。

2 「A.それぞれの意味、違いについて知っているし、理解したい」又は「D.よく分からないが、理解していきたい」。

3 「B.それぞれの意味、違いについて知っているが、理解したくない」又は「E.よくわからないし、理解したくない」。

〔図 30-2〕 問 30 性的マイノリティの理解度 と 年齢 の関係



年齢別でみると〔図 30-2〕、性的マイノリティの「それぞれの意味、違いについて知っている¹」は、20歳代から50歳代までが3割以上となっており、「理解したい²」についても、20歳代から50歳代までが5割以上と高くなっている。

また、30歳代以上で年代が上がるにつれ、「F.まったくわからない」が高くなっている。

1 「A.それぞれの意味、違いについて知っているし、理解したい」又は「B.それぞれの意味、違いについて知っているが、理解したくない」。

2 「A.それぞれの意味、違いについて知っているし、理解したい」又は「D.よく分からないが、理解していきたい」。

(注)

このページは、見開き表示のために挿入した空白ページです。